

ふるさと加西に誇りや愛着を抱く「シビックプライドの醸成」

2月29日開会の第260回加西市議会定例会で、西村和乎市長は平成28年度施政方針を述べました。

施政方針とは、市の基本方針となるもので、担当部署はこれに基づき施策を実施します。

全文は、市ホームページに掲載しています。

■市政運営の5つの基本方針

住民主体のまちづくり・人づくりの推進

産業振興と地域ブランド力の強化

子育て支援の充実と教育環境の整備

健康づくりと福祉の充実

都市基盤づくりと定住促進

■新年度の5つの基本施策

①子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

子どもたちが過ごす学校施設は、平成27年度に耐震化率100%を達成しました。安心して学べる環境で、各学校が創意工夫を凝らし魅力ある学校づくりを進めていきます。新たに学力向上プロジェクトとして全学校図書室の蔵書数を増やすとともに、インターネットを用いた「eラーニング」の導入を行います。

また、学校づくり応援事業や一人ひとりの子どもに指導するスクール

アシスタントなどの拡充、中1ギャップの解消を図る小中連携を積極的に進めます。



3月から新校舎で授業を受ける西在田小の児童

②雇用と経済が元気を取り戻す加西

創業・起業希望者に対する支援体制の強化や「加西市ふるさとハローワーク」での就職支援、地域経済の活性化に向けたビジネスホテルの積極的誘致、新産業団地整備に向けた協議を進めていきます。農業振興策では、担い手の確保と育成を中心に施策を推進します。

定住基盤を整えるため、旧市街地の住環境整備や良好な住宅地の分譲、若者世帯向けの補助制度を継続実施します。また、鶉野飛行場跡周辺地区の利活用をはじめ、幹線道路の計画的な整備や迅速な通学路安全対策を進めていきます。

昨年度の「播磨国風土記1300年祭」から生まれた新しい加西の文化を継承し、郷土への愛着や誇りを育むため歴史や文化を活用した取り組みを行います。

③誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

中学3年生までの子どもの医療費無料化に加えて、新たに4・5歳児の保育料無料化を実現します。また質の高い幼児教育と保育に向けて、加西認定こども園の整備など幼保一体型の施設整備を進め、子育て世帯の安心を実現します。

「加西市歩くまちづくり条例」に基づき運動ポイント事業をはじめとする歩くまちづくりの推進や、高齢者をはじめすべての市民が安心して自分らしく暮らすための施策を進めていきます。



玉丘史跡公園内をウォーキング

④地球に優しい環境都市加西

新エネルギーによるエコ生活を促進するため電気自動車や太陽光発電に対する補助を継続します。また、野生生物保護地区に対する補助制度により、希少動植物の生息する生態系の保全・再生活動を促進するとともに、子どもたちの環境教育の充実にも取り組みます。

⑤パートナーシップによる地域経営

9校区でふるさと創造会議が始動し、活発な活動が展開されています。今後とも住民が市と協働してまちづくりの主体となるよう積極的な働きかけを進めます。

また、若者の能力や感性を生かした活動や魅力ある発信をする加西市独自の「地域おこし協力隊員」を拡充し、地域を担う住民自身が地域を活性化しようとする動きを支援していきます。

国の地方創生の動きに先行して取り組んできた「5万人都市再生」の各施策は、今後、加西市独自の魅力や価値を高め、加西市だからこそできる取り組みとしてより一層進めていきます。

英知を結集して、選択と集中により、持続可能な財政力を維持しながら、必要な事業を今まで以上に積極的に実施することで、市民が暮らしやすく、加西に住みたい、住み続けたいと思うまちづくりを目指していきます。

市民の皆さまのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

施政方針の具体的な取り組みとして、「5万人都市の再生」に向け、子育て支援の充実と教育環境の整備、定住促進などの施策を重点的に実施していきます。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

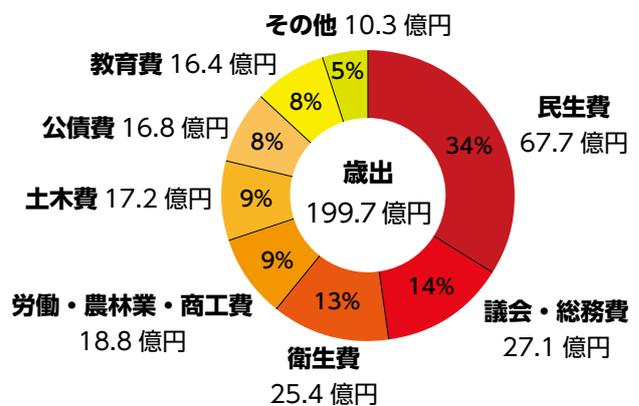
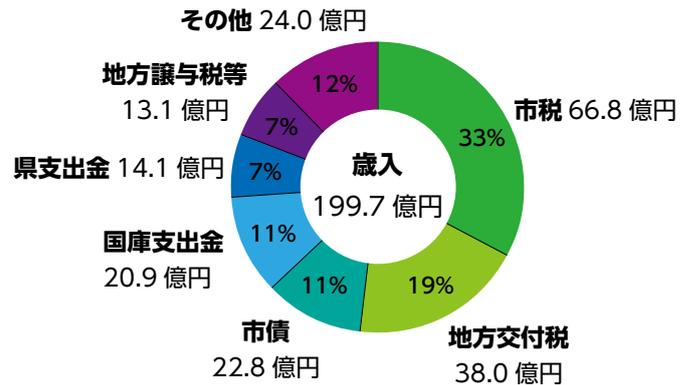
一般会計	199億7,000万円	(対前年 2.5% 減)
特別会計	113億8,500万円	(同 4.0% 増)
企業会計	142億280万円	(同 2.0% 減)
総 額	455億5,780万円	(同 0.8% 減)

■市民1人あたりの予算の使い道

区分	市民1人あたり
民生費（福祉の充実）	150,000円
議会・総務費（行政の運営）	60,000円
衛生費（保健・環境）	56,000円
労働・農林業・商工費（産業・観光）	42,000円
土木費（道路・公園・区画整理）	38,000円
公債費（借金の返済）	37,000円
教育費（学校教育・生涯学習）	36,000円
その他（消防費・諸支出金・予備費）	23,000円
計	442,000円

※ 2月末現在の人口 45,245 人で算出

■平成28年度一般会計予算



■平成28年度予算の主な事業

●子育て支援・教育

認定こども園の整備 **5億4,862万円**

平成29年の開園を目指し加西認定こども園を整備。また、北条中校区に認定こども園を整備するための設計。さらに、多聞認定こども園の整備に対して補助。

4歳・5歳児の保育料の無料化 **7,849万円**

公私立の幼保施設に通う4歳・5歳児の保育料を無料化（給食費などは実費負担）。

スクールサポーター事業 **2,741万円**

スクールアシスタント（指導員）やヤングアドバイザー（指導補助員）を拡充。中学校の部活動において外部指導員を導入。

学力向上プロジェクト事業 **800万円**

小・中・特別支援学校の学校図書充実することで、児童生徒の読書活動を推進（50万円×16校分）。

●まちづくり

歩くまちづくりの推進 **4,206万円**

歩数などをポイント化し、電子マネー等と交換できる運動ポイント事業や歴史自然を楽しみながら健康づくりができる散策路の設定整備など。

北条市街地消防サイレン整備事業 **2,400万円**

火災の延焼の恐れが高い北条市街地に消防サイレンを整備。

●人口増に向けた施策

北条町西高室区画整理事業 **8,700万円**

西高室地区土地区画整理組合に対し補助。今年度より宅地分譲を開始。

若者定住促進事業 **4,355万円**

「市内で住居を新築・購入する若者世帯」や「市内の民間賃貸住宅に居住する新婚世帯」に対して費用の一部を補助。

●都市基盤整備

道路等整備事業 **3億8,476万円**

幹線道路の整備、道路・橋梁の修繕、通学路安全対策。鶉野飛行場跡周辺地区の利活用に向け、周辺道路の整備。

衛生センター改修整備事業 **2億8,208万円**

し尿、汚泥を公共下水道へ放流して効率的に処理し、良好な生活環境の保全を図るため、衛生センターを改修整備。